

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ディスカバリークラフト		公表日 2025年2月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースにも余裕があり、安心して過ごしていただける環境を整えております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		余裕を持たせた職員配置を行っております。個別での配慮が必要なお子様には、個別でスタッフがフォローできるような体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的に分かりやすいように掲示物を作成しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日決められた時間に掃除や除菌を行っており、気持ちよく過ごせる環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様のその日の様子に応じて、集団に入ることがしんどい場合などには、集団から離れた空間で過ごしていただけるようにスペースを設けております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員の意見を取り入れた上で、業務目標の設定と振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の内容を十分に吟味しながらスタッフ間で共有し、業務改善につなげて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者からの意見を業務改善につなげるようにさせていただいております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で定期的に研修の機会を設けています。	必要に応じて業務の調整を行い、外部研修への参加も行ってまいります。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表しております。毎月の具体的なプログラム内容については、個別に保護者様にご連絡させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	○		ミーティングを定期的に行い、情報の共有をし、児童発達支援計画の作成に活かせるように努めています。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングを定期的に行い、情報の共有をし、児童発達支援計画の作成に活かせるように努めています。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を共有する為、ミーティングの時間を週1日設けています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ご共有いただいたフォーマルな検査結果と、日々の療育の行動観察をあわせて、多角面な視点からお子様のアセスメントするように心掛けております。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		令和6年度厚生省ガイドラインに沿った支援計画に基づいて設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的なミーティングの時間を設けており、チームで意見交換を行うようにしています。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的なミーティングの中で意見交換を行うようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		ミーティング時に情報の共有を行って、支援計画へ結び付けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		時間を決めて、毎日打ち合わせを行うようにし役割分担などの共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		時間を決めて毎日打ち合わせをし、振り返ることで次のプログラムの改善点などの共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録を取るようしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		情報の共有を行い、定期的なモニタリングを行っています。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様が自己決定できるように選択肢を提供する機会を多く設けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当者が参画するように調整しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連絡が、いつでも取りあえるように体制を整えています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携、相談を行えるようにしております。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			事業所内での支援が中心となっているため、外部のこどもと活動する機会は設けられておりません。事業所に求められる役割やご意見を踏まえながら対応について検討させていただきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や、情報伝達ツールを使って最近気になることなどや、体調面においても情報の交換をしながら共通の理解を持つようしています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族支援プログラム、その他研修機会の提供ができるような体制づくりを法人全体で検討してまいります。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		朝・昼のミーティングで、送迎の確認や保護者様からの連絡等の情報の共有をしています。		
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		引き継ぎや情報共有の必要がある場合は、連絡を行うようしています。		

	39	<u>【放デイのみ】</u> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		カンファレンスを実施し、適切に引き継げるようにしております。	
	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会への参加は、現在はしていませんが今後、参加する機会を持ちたいと思います。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时や契約時に丁寧な説明を行うように心掛けております。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意見を踏まえながら放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画の内容を説明しながら同意を得るようにしております。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングの際にお話をお聞きさせていただいております。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		法人全体のイベントとして、ご家族で参加いただく機会を設けさせていただいております。自施設の他事業所との交流会を持ち、未就学のお子様と一緒に、ご家族様向けの保護者会も実施し保護者様同士の交流を持つ、きっかけづくりをすることができました。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に保護者様に相談や苦情対応窓口についての話をしている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にHPや、Instagram等を通して活動内容等を発信して子ども達の日々の過ごし様子を知らせて頂けるように取り組んでいます。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		新人の研修の際に、個人情報の取り扱いについて全てのスタッフが学んでいます。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子ども達への情報の伝達は、視覚支援を重視して、伝わりやすいように配慮しています。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方を知って頂くために、各相談支援事業所を行事へのお誘いをしています。	
51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		悩みなどに対する電話での相談や、来所頂いての面談を行っています。悩みの内容に寄り外部（学校や支援事業所）へ出向くこともあります。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修計画に基づいて毎年実施しています。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		研修計画に基づいて毎年実施しています。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に丁寧な聞き取りを行うとともに、生育歴記録等を共有頂き再度確認をしています。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様とご相談の上、必要に応じて医師の指示に基づいた対応を行っています。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修計画に基づいて毎年実施しています。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		取組内容について周知徹底が不完全でした。取組内容について契約時の丁寧な説明に加え、研修を実施した場合の情報発信にも努めてまいります。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細なことでもヒヤリハットを共有できるように全スタッフが周知し、環境構成の改善や、スタッフの対応力の向上へと繋げる取り組みをおこなっています。	

59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		時期を決めて定期的な研修を毎年実施しています。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現時点で身体拘束の事例はございませんが、万が一必要な場合は、規定通りに対応させていただきます。身体拘束についての研修も毎年実施しています。	